



TURBOSYSTEMS

8K SHV XJive Player 12G-SDI x4 出力モデル 操作説明書 (OTH083)

ターボシステムズ株式会社

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 付属品.....	3
2. 本装置仕様.....	4
2.1. 装置概要.....	4
2.2. 装置前面.....	5
2.3. 装置背面.....	5
2.4. SDI 出力モード設定.....	7
3. 8K SHV XJive Player の操作.....	8
3.1. 装置起動.....	8
3.2. 実行ファイルの用意.....	10
3.3. ファイルのコピーと削除.....	11
3.3.1. Windows からコピーする.....	11
3.3.2. 外付けUSBメモリ/SSD からコピーする.....	12
3.3.3. ファイル削除.....	14
3.4. ファイル再生.....	15
3.5. プレイリスト再生.....	17
3.5.1. プレイリストの設定.....	17
3.5.2. プレイリストの削除.....	18
3.6. リモートコントロール機能.....	19
4. 8K SHV XJive Player の設定.....	21
4.1. ネットワークの設定.....	22
4.2. Windows ネットワークの設定.....	23

変更履歴

日付	内容
2020/04/15	初版

1. はじめに

本書は、「8K SHV XJive Player / 12G-SDI x4 出力モデル」の操作方法について説明しています。

8K SHV XJive Player

<http://www.turbosystems.co.jp/oth083.html>

1.1. 付属品

次の付属品がそろっている事を確認してください。

- プレーヤ本体
- プレーヤ本体前面扉キー ※キーは付属していますが、通常使用しません
- 電源コード（1本）
- テンキー（1個）
- 操作説明書（本紙）



SDI ケーブル、ネットワークケーブル、USB メモリ等は製品に付属していません。

2. 本装置仕様

2.1. 装置概要

本製品の仕様は以下の通りです。

製品名	8K SHV XJive Player / 12G-SDI x4 出力モデル
型番	OTH083
映像コーデック	H.265/HEVC 4:2:0 10bit (最大 200Mbps まで *1) GOP サイズ 10-64 以内
音声コーデック	2ch / 5.1ch / 7.1ch/ 22.2ch AAC 16bit 48kHz
コンテナ	MP4 / MPEG2-TS / MMT
解像度 / フレームレート	8K (7680 x 4320) / 60p 4K (3840 x 2160) / 60p ※4K コンテンツは 8K ヘストレッチ出力されます
映像出力	12G-SDI x4 (2SI/SQD)
音声出力	SDI1 に重畳
内蔵 SSD サイズ	120GB
筐体サイズ	440 mm (W) x 150 mm (H) x 340 mm (D)
電源	600W 100~240V

*1 仕様を満たす全ての素材の再生を保証するものではありません。対応最大ビットレート未満のコンテンツでも正常に再生できない可能性があります。

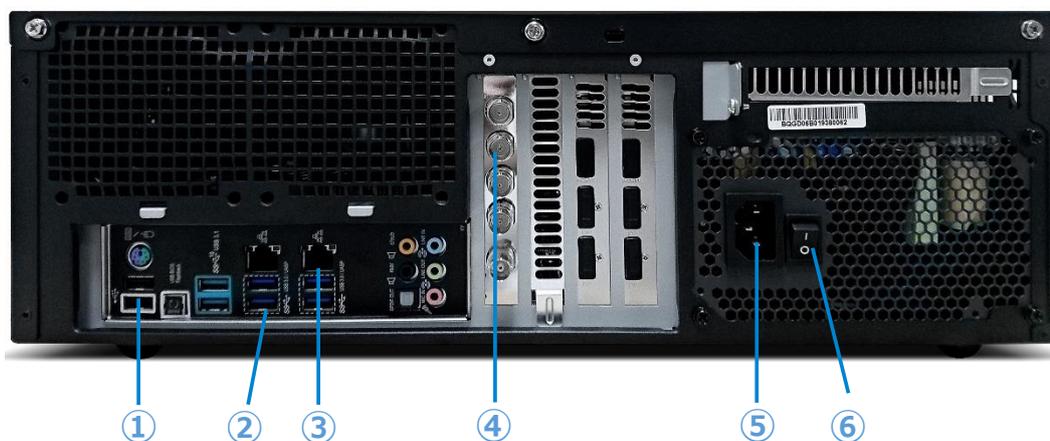
2.2. 装置前面

使用するスイッチやポートは以下の図のとおりです。その他の端子は利用しません。



	名称	説明
①	電源スイッチ	装置本体の電源を ON/OFF します。

2.3. 装置背面



	名称	説明
①	USB2.0 ポート	製品付属のテンキーを接続します。
②	USB3.0 ポート	USB メモリや外付け SSD を接続します。

③	ギガビット LAN	イーサネットケーブルを eth0 ポートへ接続します。 右ポートが eth0 になります。必ず右のポートへ接続してください。
④	映像出力ポート (12G-SDI x4)	上から4つのポートに SDI ケーブルを接続します。 12G-SDI x4 出力は、出荷時 2SI (2 Sample Interleave) に設定されています。 SQD (Square Division) の場合は、上から次の通りです。 ・出力ポート 1 (田の字左上) ・出力ポート 2 (田の字右上) ・出力ポート 3 (田の字左下) ・出力ポート 4 (田の字右下) SDI 出力の設定変更は「2.4. SDI 出力モード設定」を参照してください。
⑤	電源ポート	電源コードを接続します。
⑥	電源本体スイッチ	電源本体のスイッチです。 「-」にすると電源が入ります。「○」の状態では筐体前面の電源スイッチを押しても電源は入りませんので注意してください。



動画素材を保存した外付け USB メモリや SSD は、青色の USB3.0 ポートへ接続してください。また、同時に複数の USB ポートへ外付け USB メモリや SSD を接続しないでください。

2.4. SDI 出力モード設定

本装置は、起動時に USB メモリに保存した以下の設定ファイル (sdi.ini) を読み込むことで SDI の出力モードを設定することができます。

出荷時は 2SI (2 Sample Interleave) に設定されています。

■ 設定ファイル (sdi.ini)

sdi.ini というファイル名でテキストファイルを作成し、以下の書式で設定を記述します。

例) sdi.ini

```
TOW_SAMPLE_INTERLEAVE="1"
```

設定項目は以下の通りです。

項目	説明
TOW_SAMPLE_INTERLEAVE	0 = Square Division 1 = 2 Sample Interleave

作成した sdi.ini ファイルを USB メモリのルートへコピーし、本装置の USB ポートへ挿します。

USB メモリを挿した状態で、装置の電源を入れます。

sdi.ini で指定した SDI 出力モードに自動的に設定され、設定ファイルは「Internal Disk」へコピーされます。次回起動時からは、「Internal Disk」へ保存された sdi.ini を読み込み設定を行いますので、一度、設定を行えば次回起動時に USB メモリは必要ありません。

SDI 出力設定をする場合は再度、sdi.ini を変更し、USB メモリを挿して起動時に読み込んでください。

3. 8K SHV XJive Player の操作

この章では本装置の操作方法について解説しています。

3.1. 装置起動

装置前面の電源ボタンを押して本装置を起動します。しばらくするとメイン画面が表示されます。



電源投入後、メイン画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。それまでモニタには何も表示されません。

画面項目は以下の通りです。

項目	説明
Internal Disk	内蔵 SSD に保存されているファイルが一覧表示されます。ファイルのコピー方法は「3.3. ファイルのコピーと削除」を参照してください。
External Disk	外付けの USB デバイスに保存されているファイルが一覧表示されます。

Settings	MTU 設定、IP アドレスの設定、Windows ネットワーク (Samba) の設定を行います。「4. 8K SHV XJive Player の設定」を参照してください。
Ver	バージョンを表示します。
IPv4	設定されている IPv4 アドレスを表示します。
IPv6	設定されている IPv6 アドレスを表示します。

3.2. 実行ファイルの用意

本装置は、以下の拡張子のファイルを実行可能です。

拡張子	概要
.ts	MPEG2-TS 動画ファイル
.mp4	MP4 動画ファイル
.mmt	<p>MMT ストリームの受信設定を記述します。以下の項目をスペース区切りで指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ポート番号・マルチキャストグループアドレス・ソースアドレス <p>設定例) IPv6 マルチキャスト受信</p> <pre>51216 ff12::1 2001::1:1:0:1</pre> <p>設定例) IPv4 ユニキャスト受信</p> <pre>51216</pre> <p>ユニキャスト受信はポート番号だけを指定します。</p>



拡張子はコンテナに合わせて必ず上記の通りとしてください。



弊社製品「ZJive for MMT」で録画したファイルの拡張子も.mmt です。本装置は、「ZJive for MMT」で録画した.mmt ファイルも再生可能です。

3.3. ファイルのコピーと削除

本装置の内蔵 SSD 「Internal Disk」 へファイルをコピーするには 2 つの方法があります。

1 つは、外付けの USB メモリや SSD から 「Internal Disk」 へコピーする方法です。もう 1 つは、Windows からネットワーク経由で 「Internal Disk」 へアクセスし、コピーする方法です。

3.3.1. Windows からコピーする

「4. 8K SHV XJive Player の設定」を参照し、「ネットワーク」と「Windows 共有」の設定を完了してください。Windows 共有を有効にすると、同じ LAN の Windows PC から本装置の「Internal Disk」へアクセスできるようになります。

Windows エクスプローラを起動し、エクスプローラの場所ツールバーへ本装置の IP アドレスと共有フォルダ名（初期値: xjive）を指定します。以下は IP アドレスが 192.168.0.10 の例です。

¥¥192.168.0.10¥xjive

アイコンをダブルクリックして共有フォルダへアクセスします。



ユーザ名とパスワードを要求されますので、「USER NAME」（初期値: **XJIVE**）と「PASSWORD」（初期値:**XJIVE**）を入力し、「OK」を押します。

認証に成功すると「Internal Disk」へアクセスできるようになります。

Windows PC 上に保存されているファイルをコピーしてください。

3.3.2. 外付け USB メモリ/SSD からコピーする

以下の条件を満たす外付け USB メモリやストレージ (SSD) を用意してください。

- USB3.0 対応 (動画素材.mp4、.ts を外部 USB から直接再生する場合は性能面から必須)
- 単一パーティションテーブルのもの (通常は購入時にはこの状態です)
- ファイルシステム : exFAT もしくは Ext4 でフォーマットしたもの



その他のファイルシステムでも認識は可能ですが性能検証は上記のみです。



USB メモリは通常、単一パーティションテーブル構成になっています。そのままの状態
でフォーマットを実行してください。フォーマット手順は、ご利用の OS のヘルプ等を参
照してください。また、希に単一パーティションではない USB メモリが存在します。そ
のような USB メモリは正常に認識できない場合があります。

「External Disk」にあるフォルダやファイルを「Internal Disk」へコピーするには以下のように操作します。

「External Disk」の一覧からコピーしたいフォルダまたはファイルを選択し、テンキーの「+」を押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すとコピーが始まります。

split-hevc-8bit-25M-4.m... (2/ 6)
26.99%

XJIVE 8KSHV

- ↩ back
- 📁 ts
- 📁 **mp4**
- 📄 bbb_422_4k_HEVC_20Mbps.ts

Ver. 2.06.00 IPv4: 172.16.83.112 IPv6: fe80::7285:c2ff:fec0:9bb5

3.3.3. ファイル削除

Windows から「Internal Disk」へアクセスし、ファイルを削除、あるいは操作画面からファイルを削除することができます。

操作画面から「Internal Disk」へ保存されているファイルやディレクトリを削除するには、一覧から削除したいフォルダまたはファイルを選択し、「-」キーを押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すと削除されます。



「External Disk」にあるフォルダやファイルを削除することはできません。

3.4. ファイル再生

本装置の電源を投入します。メイン画面が表示されます。



操作は付属のテンキーを使用します。



キー	説明
[↑] [↓]	移動
[Enter]	選択

「↑」「↓」キーで「Internal Disk」または「External Disk」を選択し、「Enter」キーを押します。ファイルの一覧が表示されます。



「↑」「↓」キーで再生したいファイルへカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。再生が始まります。「Backspace」キーを押すと一覧画面へ戻ります。

再生中はテンキーで以下の操作が可能です。

キー	説明
「Enter」	再生 / 一時停止
「+」	前のファイルを再生（プレイリスト再生時）
「-」	次のファイルを再生（プレイリスト再生時）
「Backspace」	一覧画面へ戻ります。



一覧画面で「7」キーを押すと現在のフォルダにある全てのコンテンツを順番に再生します。

3.5. プレイリスト再生

プレイリストを設定すると、選択した順番で .mp4/.ts ファイルをループ再生させることができます。

3.5.1. プレイリストの設定

設定したプレイリストは「Internal Disk」の「PLAYLIST.lst」ファイルへ保存されます。



コンテンツをプレイリストへ追加/削除するには以下のキーで操作します。

キー	説明
「*」	プレイリストへ追加します。コンテンツの先頭に再生順の番号が表示されます。
「/」	プレイリストから削除します。
「.」	コンテンツの先頭に表示されている番号をすべてクリアします。 「PLAYLIST.lst」へ保存されているプレイリストはクリアされません。
「0」	プレイリスト再生を開始します。「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「Enter」キーを押した場合と同じです。

プレイリストへ追加したコンテンツへカーソルを合わせてもう一度「*」キーを押すと、プレイリストが保存されます。

プレイリスト再生を開始するには、「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「Enter」キーを押すか

「0」キーを押します。「Backspace」キーを押すとコンテンツ一覧画面へ戻ります。



プレイリストへ追加可能なコンテンツの数は99番までの制限があります。



プレイリストが保存されている場合、XJive 起動後、自動的にプレイリスト再生がはじまります。

3.5.2. プレイリストの削除

プレイリストをクリアするには「Internal Disk」の「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「/」キーを押します。

PLAYLIST.lst ファイルの内容がクリアされます。

3.6. リモートコントロール機能

本装置を起動すると以下のメインメニューが表示されます。



リモートコントロール機能を有効に設定すると、メニュー画面が非表示になり、タブレットやパソコン等のウェブブラウザから XJive の画面を操作できるようになります。

リモートコントロール機能の ON/OFF は以下のファンクションキーで切り替えます。

キー	説明
[F3] キー	メニュー画面を表示し、リモートコントロール機能を無効にします。
[F4] キー	メニュー画面を非表示にし、リモートコントロール機能を有効にします。



リモートコントロール機能の設定は、本装置を再起動した後も保持されます。

[F4] キーを押して、リモートコントロール機能を有効後、ウェブブラウザで本装置の IP アドレスへアクセスします。XJive の IP アドレスはメイン画面下に表示されています。

<http://XJiveのIPアドレス/>

以下の認証画面が表示されます。



ユーザ名とパスワードを入力します。

ユーザ名	xjive ※ユーザ名は xjive 固定です。
パスワード	「Settings」画面へ移動するときと同じパスワードです。 初期状態では、 1234 に設定されています。

入力後、[ログイン] ボタンを押します。以下のリモートコントロール画面が表示されます。



左部に XJive のメイン画面、右部に仮想テンキーが表示されます。

4. 8K SHV XJive Player の設定

メイン画面の「Settings」では、ネットワークインターフェイスの設定と Windows ネットワーク (SMB) の設定が可能です。「Settings」画面へ移動するにはパスワードの入力が必要です。

初期設定のパスワードは「**1234**」に設定されています。パスワードを入力し「Enter」キーを押してください。



初期パスワードを変更するには「Settings」画面にログインした状態で「***」を入力します。パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。確認のため再入力画面が表示されますので、もう一度、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。

パスワード認証に成功すると以下の「Settings」画面が表示されます。

XJIVE 8KSHV

MTU	1500	6000	SMB Enable	SMB Disable
V4 address	<input type="text"/>		WORKGROUP	<input type="text" value="WORKGROUP"/>
V6 address	<input type="text"/>		HOST NAME	<input type="text" value="XJIVE"/>
V4 gateway	<input type="text"/>		USER NAME	<input type="text" value="XJIVE"/>
DNS	<input type="text"/>		PASSWORD	<input type="text" value="XJIVE"/>

V4 address: 172.16.83.112/22 Disk: 428392/460960MByte (3%use)

V6 address: fe80::7285:c2ff:fec0:9bb5/64 System Ver. 2.06.00

4.1. ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。初期状態では DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得します。

設定項目	説明
MTU	ネットワークインターフェースの MTU 値を選択します。 合成 TLV/MMT ストリームを受信するには "6000" を選択する必要があります。
V4 address	IPv4 アドレスを手動で設定する場合に入力します。空白の場合は自動取得です。IPv4 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。 例) 192.168.0.1/24 サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に 24 が指定されます。
V6 address	IPv6 アドレスを手動で設定する場合に入力します。空白の場合は自動取得です。IPv6 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に 64 が指定されます。
V4 gateway	IPv4 ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
DNS	DNS サーバの IP アドレスを指定します。

設定画面のテンキー操作は次の通りです

	説明
NumLock 無効時	<ul style="list-style-type: none">・ 「↓」 「←」 「→」 キーで項目選択および項目移動・ 「1500」 「6000」 「SMB Enable」 「SMB Disable」 にカーソルをあわせた状態で 「BackSpace」 キーを押すとメイン画面へ戻ります。 設定が変更されている場合、変更を保存します。
NumLock 有効時	<ul style="list-style-type: none">・ 数字キー、 「.」 キー、 「/」 キーで IPv4 アドレスを入力します・ 「BackSpace」 キーで入力を削除します

	※IPv6 アドレスを入力する場合は、USB キーボードを接続する必要があります。
--	---

4.2. Windows ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。

設定項目	説明	初期値
WORKGROUP	Windows ネットワークのワークグループ名を指定します。	WORKGROUP
HOST NAME	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはここで指定した名前が表示されます。	XJIVE
USER NAME	共有フォルダへアクセスするユーザ名を指定します。	XJIVE
PASSWORD	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定します。	XJIVE



入力するには USB キーボードを接続する必要があります。



ターボシステムズ株式会社